

ELSJ Newsletter No. 130 (2017年9月15日)

編集・発行所 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1-2 研究社英語センタービル
 (Email: ejimu@elsj.org 電話/FAX: 03-5261-1922 ホームページ: <http://www.elsj.org>)
 一般財団法人 日本英文学会 代表者 原田 範行

会長からの報告

2017年5月20日、21日の両日、静岡大学で日本英文学会の第89回大会が開催されました。実りある大会の実現にご尽力いただきましたすべての皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。その前日の19日に開かれました学会の理事会・評議員会で、私は会長職を拝命致しました。非力ではございますが、会員の皆様のご協力のもとに力を尽し、大学院生の頃より学会からいただきました学恩に少しでも報いることができたと考えております。今後とも引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。また、来年度の大会についても、大会準備委員会を中心に企画・立案が順調に進んでいます。会場は東京女子大学。多くの方々のご出席を心よりお待ちしております。

任期満了によって退任された前会長の佐々木徹先生は、一般財団法人としての本学会の基盤を整備されるとともに、質の高い学术交流の維持・発展に多大な貢献をされました。佐々木前会長のご尽力に深く敬意を表し、また、日本英文学会の一世紀に及ぶ学会としての貴重な活動を常に意識しつつ、私も、できることを少しずつ確実に進めてまいりたいと考えております。文学や文化、言語、教育、あるいは広く人文学にかかわる研究活動を取り巻く昨今のわが国内外の諸状況は決して楽観できるものではないように思いますが、私自身、一英文学者としての研究活動を大事にしつつ、会員の皆様が有意義な学問的交流を広く、そして深く進めて行くことのできる場を確かなものにしていくことができたと願っています。皆様の知的営為が、本学会を通じてさらに大きく花開くことを願い、そしてまた皆様からのいっそうのご支援を心よりお願い申し上げます。

理事会および評議員会議事録から

静岡大学での全国大会の前日(5月19日)に理事会および評議員会が開催されました。主要な議

案は以下の通りです。

1. 2016年度事業報告
2. 2016年度編集委員会活動報告
3. 2016年度大会準備委員会活動報告
4. 2016年度決算報告
5. 2017年度予算確認
6. 2018年度大会開催校の決定
7. 2019年度大会開催支部の確認
8. その他

*なお上記、事業計画、予算、事業報告、決算報告は詳細を学会ホームページ「情報公開」欄でご覧いただけるようになっています。

「8. その他」中の主な議案は以下の通りです。

- (1) 2017年度就任の新理事、新監事、新評議員について——以下の方々を紹介されました。
理事8名(任期2年)
 瀬名波栄潤(北海道)、大河内昌(東北)、原田範行(関東)、阿部公彦(関東)、山本卓(中部)、新野緑(関西)、吉中孝志(中国四国)、山田英二(九州)
監事2名(任期4年)
 星野立子(北海道)、斎藤兆史(関東)
評議員7名(任期4年)
 本堂知彦(北海道)、佐々木和貴(東北)、後藤和彦(関東)、滝川陸(中部)、竹村はるみ(関西)、高口圭輔(中国四国)、鶴田学(九州)
- (2) 代表理事・会長の選出について——定款の定めるところに従い、新理事により代表理事・会長として原田範行理事(関東支部選出)が推挙され、了承されました。また、原田会長の指名により、大河内昌理事(東北支部選出)が副会長に就任いたしました。任期は2019年全国大会前日までの2年です。
- (3) 託児施設の利用状況——第89回大会においては、開催校のご尽力により託児施設が開設され、3名が利用予定であることが報告されました。
- (4) 『英文学研究』(和文号・英文号・支部統合号)

電子化掲載先の移行について——事務局より、和文号と支部統合号についてはJ-STAGEに移行済み、英文号についてはEBSCOに移行済み(バックナンバーについては移行中)であることが報告されました。

- (5) 海外研究者招聘後援事業について——本年度上半期は期限(4月1日)までに申請がなかったことが報告されました。なお「海外招聘後援事業規程」は学会ホームページ「情報公開」欄に掲載いたしております。

大会準備委員会からのお知らせ

◎委員の交代

本年7月2日をもって川島伸博、佐藤桐子、田口まゆみ、武田和恵、辻和彦の5氏が任期満了により退任しました。後任には、西川健誠(神戸市外国語大学)、西田光一(山口県立大学)、橋本安央(関西学院大学)、不破有理(慶應義塾大学)、吉川史子(広島修道大学)の5氏が選出されました(任期は各委員とも3年)。委員長は江田孝臣氏、副委員長は久野陽一氏です。

◎第89回大会の『大会Proceedings』発行

第78回大会から刊行がはじまった『大会Proceedings』を、今回も無事発行することができました。研究発表34件中26件(76%)、シンポジウム発表45件中22件(49%)、特別講演1件、総発表数80件中49件(61%)の論文をお寄せいただきました。また今回は、全7支部より93の原稿をいただきました(北海道8件、東北11件、関東19件、中部14件、関西16件、中国四国4件、九州21件)。ご寄稿ありがとうございました。なお、『大会Proceedings』に掲載される論文は、大会発表の長めの要約という性格のもので、それを大幅に加筆して、別稿として『英文学研究』に投稿もしくは新人賞に応募することは認められています。

◎第89回大会で発表された方へ

ご発表ありがとうございました。研究発表およびシンポジウムのいずれについても、参加者の方から多くのご好評をいただきました。ハンドアウト等の資料が不足した部屋・部門においては、大会直後から、今からでもほしいという声が多く寄せられました。著作権等の問題がない場合には、

今年度も学会ホームページにおいて掲載させていただきたく思っております。すでに送っていただいた方のものは、掲載されております。これからでも掲載してくださる発表者の方はぜひ事務局に原稿をお送りください。電子ファイル(etaikai@elsj.org)でも、ハードコピーでも結構です。どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

◎第90回大会の開催日・開催校等

時 2018年5月19日(土)、20日(日)

所 東京女子大学

(東京都杉並区)

開催校委員 篠目清美、塩原佳世乃、野村恵造、浜名恵美、原英一、本合陽(委員長)、溝口昭子

支部委員 阿部公彦(東京大学)、岩田美喜(立教大学)、遠藤不比人(成蹊大学)、倉林秀男(杏林大学)、富樫剛(フェリス女学院大学)

東京女子大学の先生方には大変なお仕事をお引き受けいただき、まことにありがとうございます。また全国大会担当支部である関東支部の方々にも心より御礼申し上げます。大会準備委員会としても、できるかぎりのバックアップを心がけたいと思いますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

◎第90回大会のシンポジウム企画の内幕

第90回大会で行われるシンポジウムの企画が下記のように内定しました。(敬称略。タイトルの変更の可能性あり。)第1～6部門は大会第1日(5月19日)、第7～12部門は第2日(同20日)にそれぞれ開催される予定です。

第1部門「Shakespeare and British Culture since 1960」

司会・講師 Daniel Gallimore(関西学院大学教授)

講師 米谷 郁子(清泉女子大学准教授)

講師 James Tink(東北大学准教授)

講師 エグリントン みか(神戸市外国語大学教授)

第2部門「100年目のWilfred Owen」(仮題)

司会・講師 田代 尚路(大妻女子大学准教授)

講師 木谷 巖(帝京大学准教授)

講師 出口 菜摘(京都府立大学准教授)

講師 霜鳥 慶邦(大阪大学准教授)

第3部門「Local/RegionalとNationalの交渉」(仮題)

司会・講師 高桑 晴子(お茶の水女子大学准教授)
 講師 服部 典之(大阪大学教授)
 講師 唐戸 信嘉(茨城キリスト教大学助教)
 講師 河野真太郎(一橋大学准教授)

第4部門「モダニズムの現代性——文学、批評、教育、メディア」(仮題)

司会・講師 秦 邦生(青山学院大学准教授)
 講師 田尻 芳樹(東京大学教授)
 講師 佐藤 元状(慶應義塾大学教授)
 講師 吉田 恭子(立命館大学教授)

第5部門「偽作、贋作、改作——中世、そして中世を超えて」

司会・講師 高宮 利行(慶應義塾大学名誉教授、Sandars Reader, Cambridge)
 講師 高木眞佐子(杏林大学教授)
 講師 英 知明(慶應義塾大学教授)
 講師 安形 麻理(慶應義塾大学准教授)

第6部門「MergeとLabelingをめぐる」

司会・講師 奥 聡(北海道大学教授)
 講師 星 浩司(慶應義塾大学教授)
 講師 高橋 真彦(山形大学講師)

第7部門「アメリカ文学におけるホテル空間」(仮題)

司会・講師 長岡 真吾(福岡女子大学教授)
 講師 喜納 育江(琉球大学教授)
 講師 齊藤 弘平(青山学院大学准教授)
 講師 池末 陽子(大谷大学助教)

第8部門「詩人としてのボブ・ディラン」

司会・講師 堀内 正規(早稲田大学教授)
 講師 飯野 友幸(上智大学教授)
 講師 原 成吉(獨協大学教授)
 講師 小池 昌代(詩人)

第9部門「イカロスを追いかけて——空をめぐる文学的想像力」(仮題)

司会・講師 石原 剛(早稲田大学教授)
 講師 有馬 容子(敬愛大学教授)
 講師 西山けい子(関西学院大学教授)
 講師 藤田 義孝(大谷大学准教授)

第10部門「聖書の英語——その特異性と普遍性」

司会・講師 小倉美知子(東京女子大学教授)
 講師 橋本 功(関西外国語大学教授)
 講師 豊田 昌倫(京都大学・関西外国語大学名誉教授)

第11部門「話し手・聞き手と言語表現——語用論と文法の接点」

司会・講師 吉田 幸治(近畿大学教授)
 講師 住吉 誠(摂南大学准教授)
 講師 金澤 俊吾(高知県立大学准教授)
 講師 五十嵐海理(龍谷大学教授)

第12部門「学習者の〈主体的・対話的で深い学び〉を促す試み——文学教材を題材に」(仮題)

司会・講師 松本 真治(佛教大学教授)
 講師 草薙 優加(鶴見大学教授)
 講師 鈴木 実佳(静岡大学教授)
 講師 吉本 和弘(県立広島大学教授)

◎第90回大会招待発表

第90回大会の招待発表講師は次の各氏に決定しました。(敬称略。50音順。)

アルヴィ 宮本 なほ子(東京大学教授)
 川原 功司(名古屋外国語大学准教授)
 菊池 清明(立教大学教授)
 斎藤 兆史(東京大学教授)
 滝口 晴生(元山梨大学教授)
 丹治 愛(法政大学教授)
 藤平 育子(元中央大学教授)
 本橋 哲也(東京経済大学教授)

◎第90回大会研究発表の募集

第90回全国大会の研究発表を募集しております。学会のホームページ(<http://www.elsj.org>)上でご確認のうえ、奮ってご応募ください。また、ウェブ上のフォーマットを利用して、ウェブから直接応募することが可能ですので、どうぞご利用ください。応募の締め切りは11月1日(必着)です。

◎シンポジアムのアイデア募集について

シンポジアムのテーマに関する提言は随時受け付けておりますので、事務局(etaikai@elsj.org)までお寄せください。ただし、提案者は参加することはできませんのでご注意ください。寄せられた

アイディアはデータベース化し、大会準備委員がシンポジウムを企画立案する際の参考資料として活用します。

◎大会ワークショップについて

第86回大会よりワークショップが導入されておりますが、第90回大会には応募がありませんでした。応募要領は学会ホームページ (<http://www.elsj.org>) に掲載しておりますので、奮ってご応募ください。第91回大会(2019年開催)ワークショップの応募締め切りは、2018年4月末日です。

編集委員会からのお知らせ

◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号(12月刊行)、英文号(3月刊行)の年各一冊という刊行形態となっており、それに応じてそれぞれ投稿締切が設定されておりますが、昨年9月1日締切の英文号には20本の投稿論文が寄せられました。また、本年4月1日締切の和文号には11本の投稿論文が寄せられました。

◎第40回新人賞応募状況

第40回新人賞論文の応募受付は、去る4月30日をもって締切となりました。応募論文総数は、6篇(英文学3篇、米文学3篇、英語学0篇)です。応募者の皆様には心より感謝申し上げます。

今年度は残念ながら、第一次銓衡を通過した論文はなく、新人賞、佳作とも、該当論文なしということに決定いたしました。全体および各分野の選評は『英文学研究』和文号第94巻に掲載されます。

◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』(和文号、英文号)に掲載される論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。『英文学研究』第94巻においては、残念ながら「該当論文なし」となりました。

事務局からのお願い・ご報告

◎今年度の大会について

5月20日(土)・21日(日)に静岡大学静岡キャンパスにて開催された第89回全国大会は、当日会員を含む多くの方々にご来場いただきました。

シンポジア、研究発表のいずれにおきましても活発な議論が展開され、宗片邦義先生による特別講演も啓発的かつ独創的な内容であり、大会は盛会のうちに終了いたしました。シンポジア・研究発表・特別講演関係者の皆様、書籍展示に参加された協賛会員の皆様、大会運営を担われた教職員・学生の皆様、会の運営に力をお貸しくださった中部支部の皆様にご御礼申し上げます。

◎来年度の大会について

すでに学会ホームページでもお知らせしておりますように、来年の第90回大会は2018年5月19日(土)・20日(日)の両日に東京女子大学において開催されることが決定いたしました。開催校をお引き受けくださった東京女子大学の皆様に心より御礼申し上げます。

例年通り、大会初日(5月19日[土])の夕刻には、会員の皆様にご参加いただく懇親会を予定しております。懇親会の予約方法につきましては、2018年3月刊行予定の『第90回大会資料』ならびに学会ホームページにて、あらためてお知らせいたします。

◎来年度大会における特別シンポジウムについて

大会2日目(5月20日[日])の午後には、特別シンポジウム(「英文学会における文化研究のあり方、その可能性」[仮題])が予定されております。多数のご来聴をお待ちしております。詳細については『第90回大会資料』に掲載いたします。

◎全国大会期間中における託児所の開設について

開催校のご尽力により、来年度全国大会期間中に、託児業者に委託する形で、大会会場内に託児所が開設されることになりました。ご関心のある方は本部事務局にお問い合わせください。

◎会費納入と刊行物発送について

会費(一般会員8,000円、学生会員5,000円、協賛会員10,000円)を滞納しても、ただちに会員資格を失うことにはなりません。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2年間は引き続き刊行物をお送りいたします。『大会Proceedings』に2年度分の会費振込用紙が同封されている方々は、会費滞納が2年目になっています。今年度中に2年度分の会費の納入がなかった場合は、2018

年3月末をもって会員資格を失うこととなります。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メール(ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までお問い合わせください。重複して会費を支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。郵便局(ゆうちょ銀行)に口座をお持ちでしたら、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけで簡単に利用できます。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。ご利用をご希望の方は、メール(ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までご連絡ください。

なお、66歳以上の会員を対象とした終身会員制度を設けております。詳細につきましては、学会ホームページ掲載の「終身会員規程」をご覧ください。また、事務局までメール(ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどでお尋ねください。

◎会員著書案内について

2012年4月より、会員の皆様から事務局宛てにご著書を献本いただいた場合、学会ホームページに著書紹介を掲載できるようにいたしております。著書は会員独自の研究成果に限り、訳書等は対象外とさせていただきます。掲載期間は、出版から2年間です。また、著書案内に掲載された著書については、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。

掲載をご希望の方は、以下の情報を事務局までメール(ejimu@elsj.org)でお寄せください。

1. 著書のタイトル、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概1,200字程度
3. 目次

この会員著書案内欄には、2017年7月の時点で23冊が紹介されております。ぜひご覧ください。

◎海外研究者招聘後援事業について

日本英文学会では、2011年6月1日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を実施しています。詳細は学

会ホームページ上の当該規程をご覧ください。同規程に該当する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いたします。どうぞふるってご応募くださいますようお願いいたします。応募する団体は申請書類を事務局宛てメール(ejimu@elsj.org)にてお送りください。

◎次回のNewsletterについて

次回のNewsletterは、2018年3月中旬刊行予定の『第90回大会資料』の巻末に掲載される予定です。それまでの間にお知らせすべき情報は、随時、学会ホームページに掲載いたしますので、定期的な確認をお願いいたします。

◎その他

本年5月末をもって、前任の諏訪部浩一事務局長、生駒夏美会計補佐、横越梓大会準備担当書記、渡部智也ウェブ担当が退任されました。それぞれのご所属大学での研究教育業務が多忙を極めるにもかかわらず、英文学会の運営のために献身的にご尽力いただきました。また、膨大な業務と数々の困難に、非常に優れた判断力と粘り強さで対処してくださいました。あらためて心より御礼申し上げます。

この交代に先立って、4月より新たに、佐藤和哉(事務局長補佐)、深谷素子(会計補佐)、本多まりえ(大会準備担当書記)、倉林秀男(ウェブ担当)の4名が事務局に入り、昨年度の事務局長補佐から事務局長に異動となりました山口和彦、昨年度より引き続き編集担当書記を務める若林麻希子とともに、6名の体制で本年度の事務局運営に携わることになりました。任期は来年度の全国大会が終わる5月末までとなります。引き続き2名の有能な事務職員に支えられ、原田範行会長のもと、力を合わせて努めていきたいと考えております。至らぬ点多々あることかと懸念しておりますが、会員の皆様におかれましては、ご指導・ご協力のほど、どうぞよろしくをお願いいたします。

日本英文学会事務局

山口和彦・佐藤和哉・深谷素子・若林麻希子・本多まりえ・倉林秀男